

サポセン便り

— 号外 — 2011.9.8発行



相良昭子さんが南相馬市に戻られます

こんにちは、サポートセンターの戸川と中野です。つい先日、創刊号をお届けしたばかりですが、早くも号外を出さねばならなくなりました。しかも残念なお知らせです。

震災発生後、4月から燕市に常駐し避難生活をサポートしていただいた南相馬市の派遣職員の方々、その最後の一人となりました相良昭子さんが9月16日(金)をもって派遣の任を解かれ、南相馬市に戻られることとなりました。

僕たちも大変お世話になりました。急な決定とご案内ですが、燕市でお会いできるのは最後になりますのでお知らせいたします。

相良昭子さんからごあいさつ

4月9日から燕市に避難所の担当派遣職員として参りましたが、9月16日をもって南相馬市に戻ることとなりました。5ヶ月間本当にありがとうございました。

当初は医療職も含め4人の職員で対応させていただきましたが、避難の状況とともに職員が異動になり、8月からは一人で、場所もサポートセンターに勤務させていただきました。その間、皆様にはご迷惑をおかけすることが多かったにもかかわらず、いつも温かい言葉をいただきました。おかげさまで、無事終了の日を迎えることができ、感謝しております。

避難生活はもう少し続きそうです。サポートセンターは皆様のご支援をいただきながら、訪問や交流会、サポートセンター便りを通じて、少しでも避難生活が安心して過ごせるようにと活動していますので、これからもご活用いただきたいと思います。

私は9月20日から南相馬市健康づくり課(原町保健センター)に復帰します。私にできることがありましたら、いつでも連絡してください。

朝夕は少しずつ涼しさを感じるようになりました。どうぞお身体をご自愛ください。ありがとうございました。



いつも笑顔でやさしく接してくれた相良昭子さん。単身で避難生活を送る僕たちにとってはお母さんのような存在でもありました。次回は故郷でこの満面の笑顔と対面したいです！！

9月20日(火)からの
相良さん連絡先
南相馬市原町保健センター
☎0244-23-3680

ありがとう南相馬市職員の皆さん、おつかれさまでした相良昭子さん

4月9日(土)、南相馬市から燕市と弥彦村に避難している南相馬市民の相談窓口として相良ますみさん、吉田利晴さん、広畑晴奈さんは、燕市へ派遣されて来られました。その後、高玉真理子さんも加わります。

ほかの方々が新潟県内の他市町村への配置換えや南相馬市へ戻られる中、相良昭子さんだけは、約5ヶ月間にわたり燕市に常駐し、献身的に業務をこなされてきました。

4月当初避難所にいた方は覚えていると思いますが、初めて避難所に顔を出し、南相馬市の状況などを被災者の皆さんに伝えた際は、「今ごろ何しに来た」「無責任だぞ」といった、かなり手厳しい意見や苦情にさらされました。しかし、相良さんの人柄もあって、すぐに避難者の皆さんから信頼を得ていました。

この相良さんに対する思いは、ボランティアさんや燕市の職員も同様です。南相馬市長さんや原町区長さんが燕市に来られた際、鈴木市長は「相良さんをぜひ燕市職員として採用したい!」と話していたそうです。半分は冗談でしょうが、半分は本気で勧誘していたのかもしれないですね。

このたび、南相馬市へ戻られるということは、僕たちにとってはとても残念なことです。しかし、裏を返せば福島県は着実に復興に向かっていくといえないでしょうか。

相良さんが帰郷され、心細い面もあります。まだまだ未熟なサポートセンターですが皆さんから頼られる存在になれるようがんばっていきますので、一致団結してがんばっていきましょう!

南相馬市の職員の皆さん、本当にありがとうございました。ご苦労様でした。

相良さんに会いにサポートセンターまで来られる場合は、事前に所在をご確認ください。☎0256-92-2111(内線381)



市役所の「被災者支援対策本部会議」で意見を交わす南相馬市職員の皆さん。左から吉田さん、広畑さん、相良ますみさん、相良昭子さん。



7月一杯で帰郷された相良ますみさんの涙のお別れあいさつ。7月28日避難所農園大収穫祭にて。



いつも元気いっぱいだった高玉さん(ピンクの服)。避難所の皆さんと見学した戸隠神社春季祭礼にて。

地震になんか負けねーぞ!
がんばっぺ! 福島!